

～次代へつなく豊かな農業・農協と地域社会をめざして～

2022-上期-

# JA佐渡の経営内容



産地化をめざす佐渡産みかん

## プロフィール

設 立	平成5年8月1日
本店所在地	新潟県佐渡市原黒 300-1
出 資 金	23.3 億円
総 資 産	1,223 億円
組 合 員 数	14,934人 (正組合員 6,942人・准組合員 7,992人)
職 員 数	423人
店 舗 数	本店、支店 6

(令和4年8月31日現在)

## 令和4年8月末 J A佐渡の経営状況は次のとおりです。

### 主要勘定の状況

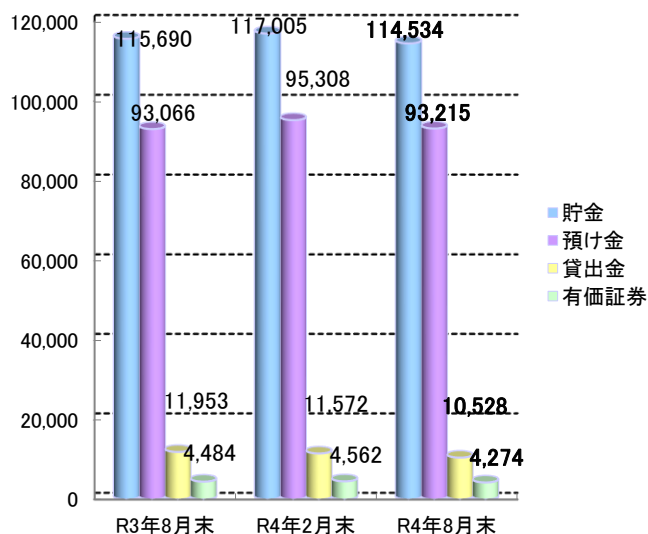
(単位:百万円)

	R3年8月末	R4年2月末	R4年8月末
貯金	115,690	117,005	114,534
預け金	93,066	95,308	93,215
貸出金	11,953	11,572	10,528
有価証券	4,484	4,562	4,274

○貯金残高は、計画比 98.8%、前年比 99.0%となっています。年金振込額や給与振込額等の貯金源に大きな減少はありませんでしたが、相続による島外への資金流出や公的資金の残高が 11.9 億円減少したことが主な要因です。

○貸出金残高は、計画比 96.8%、前年比 88.1%となっています。新規実行額が、計画比 62.3%、前年比 67.9%、年間進捗率 34.7%と計画に届かなかったこと、地方公共団体融資の大口償還により残高が大きく減少したことが主な要因です。

○有価証券は、有価証券の残高は、受益証券の売却等により計画比 77.2%、前年比 95.3%となっています。

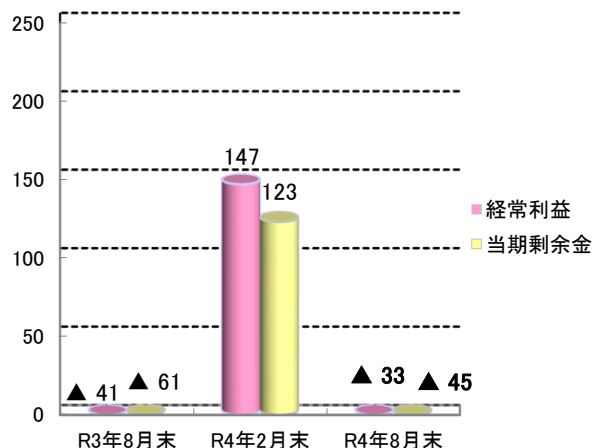


### 経営収支の状況

(単位:百万円)

	R3年8月末	R4年2月末	R4年8月末
経常収益	3,813	7,862	3,828
経常費用	3,854	7,715	3,861
経常利益	▲41	147	▲33
当期剰余金	▲61	123	▲45
未処分剰余金	▲14	176	4

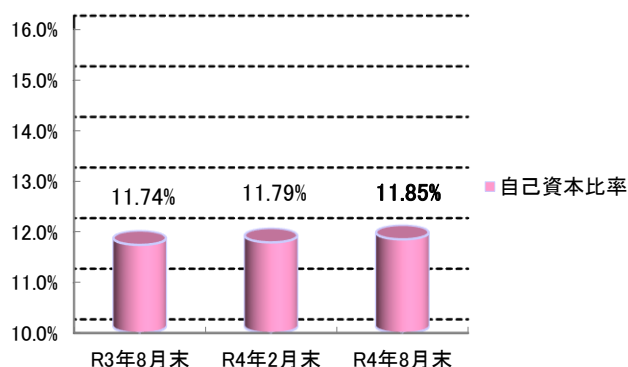
○令和3年度の事業総利益は前年を 113 百万円上回る 2,679 百万円となりました。事業管理費は前年を 21 百万円下回り、結果として 83 百万円の事業利益となりました。最終損益は、123 百万円の当期剰余金となりました。



### 単体自己資本比率(推計値)

(単位:百万円)

	R3年8月末 (推計値)	R4年2月末	R4年8月末 (推計値)
自己資本額(A)	5,642	5,776	5,749
リスク・アセット(B)	48,051	48,989	48,517
自己資本比率 (A) ÷ (B) × 100	11.74%程度	11.79%	11.85%程度



8 月末の単体自己資本比率(推計値)は令和4年2月末の自己資本額・信用リスクアセット額・オペレーショナルリスク相当額を基準に、8 月末までの資産増減から推計した信用リスクアセット増減額により算出しています。

### 自己資本比率の算出方法について

○出資金や利益準備金、諸積立金等の自己資本額を「分子」に、資産のリスクに応じてウェイトづけをした総資産等(リスク・アセット)を「分母」として算出しています。

※リスク・アセットとは…万ーの場合、貸し倒れの危険性がある資産を項目ごとに貸し倒れのリスクに応じた掛目(リスクウェイト)を乗じた総額をリスク・アセットといいます。

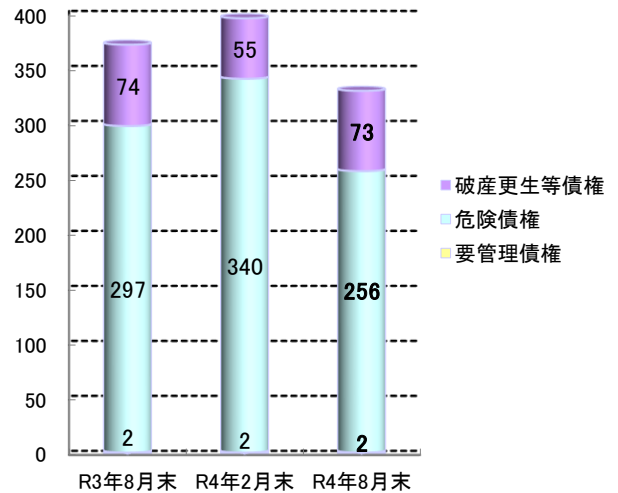
※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

## 不良債権の状況

### 金融再生法開示債権(法施行規則第4条の規定によるもの)

(単位:百万円)

	R3年8月末	R4年2月末	R4年8月末
破産更生等債権①	74	55	73
危険債権②	297	340	256
要管理債権③	2	2	2
小計(①+②+③=A)	373	398	331
正常債権④	11,821	11,279	10,331
債権額合計(A+④=B)	12,195	11,677	10,663
債権額に占める開示債権の割合(A÷B×100)	3.05%	3.40%	3.10%



## 開示債権と保全の状況(令和4年8月末)

当組合では、厳格な自己査定を実施し、担保・保証等による保全のない部分に対しては適正な償却・引当等を行うなど、資産の健全性の確保に努めています。

(単位:百万円)

自己査定と保全の状況					金融再生法開示債権 (経済債権を含む)		リスク管理債権	
債務者区分	残高A	担保等保全額B	貸倒引当金C	保全率(B+C)÷A	区分	残高	区分	残高
破綻先	5	64	61	100.0%	破産更生等債権	126	破綻先債権	4
実質破綻先	120						延滞債権	324
破綻懸念先	296	158	83	81.3%	危険債権	296	3か月以上延滞債権	-
要注意先	要管理先	7	0	87.0%	要管理債権	2	貸出条件緩和債権	2
	その他要注意先						352	合計
正常先	16,532				正常債権	16,891		
合計	17,316				合計	17,316		

### リスク管理債権について

- 「破綻先債権」とは、未収利息を計上しなかった貸出金(貸倒償却を行った部分を除きます。以下「未収利息不計上貸出金」といいます。)のうち、法人税法施行令第96条第1項第3号イからホまでに掲げる事由または同項第4号に規定する事由が生じている貸出金です。
- 「延滞債権」とは、未収利息不計上貸出金であって、破綻先債権および債務者の経営再建または支援を図ることを目的として利息の支払を猶予したものの以外の貸出金です。
- 「3か月以上延滞債権」とは、債務者が利息または元本の支払いを3か月以上延滞している貸出金です。
- 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建または支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金です。

### 金融再生法開示債権について

- 「破産更生等債権」とは、金融再生法に規定する「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」のことで、破産・会社更生・再生手続等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権です。
- 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状況には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- 「要管理債権」とは、「破産更生等債権」および「危険債権」を除く3か月以上延滞債権および貸出条件緩和債権です。
- 「正常債権」とは、債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないもので、「破産更生等債権」「危険債権」「要管理債権」以外の債権です。

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

## 有価証券等時価情報

(単位:百万円)

保有区分	R3年8月末			R4年8月末		
	取得価格	時価	評価損益	取得価格	時価	評価損益
売買目的	-	-	-	-	-	-
満期保有目的	-	-	-	-	-	-
その他	4,440	4,485	45	4,408	4,275	▲133
合計	4,440	4,485	45	4,408	4,275	▲133

(注)1. 有価証券の時価は期末時(2月末)における市場価格等によっております。

## 地域経済・くらしへの貢献

当JAの資金は、その大半が組合員のみなさまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を財源とし、これを生産拡大等の設備投資を必要とする組合員の皆様等に資金としてご利用いただいております。特に、佐渡においては、農業が島の経済に及ぼす影響が大きく、JAは地域農業の維持発展を通して地域に貢献していくという「**農業メインバンク**」として社会的責任を担っております。

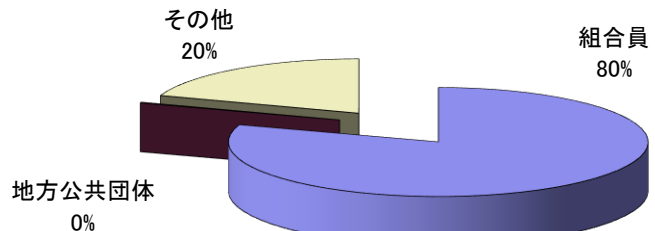
また、年金相談会の定期開催や、融資センターでの平日の営業時間延長や土日の融資相談など利便性の向上、各地域におけるキャッシュサービスコーナーの設置など、地域の皆様のくらしの支援活動に取り組みながら佐渡における「**生活メインバンク**」として機能発揮に努めております。

### 地域からの資金調達の状況(令和4年8月末)

組合員・地域のご利用者の皆様に信頼され、大切な財産(貯金)をお預かりしております。

(単位:百万円)

種類	残高
組合員	91,722
地方公共団体	239
その他	22,573
合計	114,534

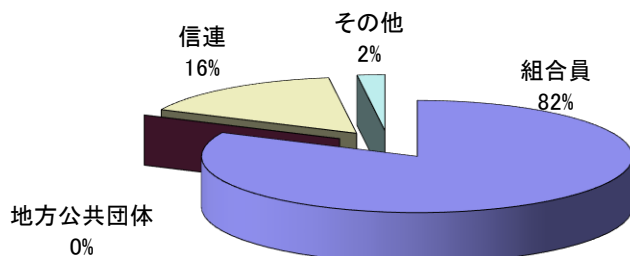


### 地域への資金供給の状況(令和4年8月末)

組合員の皆様をはじめ、地域の皆様に必要な資金をご融資し、地域経済の発展に貢献しております。

(単位:百万円)

種類	残高
組合員	8,630
地方公共団体	-
信連	1,680
その他	218
合計	10,528



※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

## 農業メインバンク機能強化への取り組み

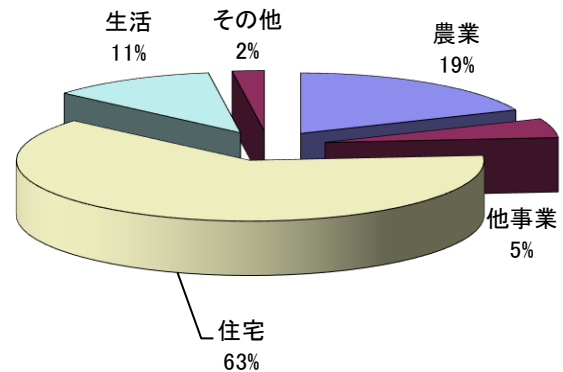
地域密着型金融事業を基本として、農業融資専任担当者による農業者・法人への訪問活動を実施し、ご融資の相談に応じる態勢を整えております。あわせて営農指導員等他部門と連携した相談機能の充実をはかっております。こうした活動を円滑に実施するため「農業経営アドバイザー」の資格取得を促進し、農業者に対する適切な資金対応ができる農業融資担当者の育成をはかっております。また、JAグループ新潟およびJA独自の利子助成制度による農業者の実質負担金利の軽減をはかるなど、農業者支援の取り組みを行っております。

### 貸出金の資金用途別等の残高

〔貸出金〕

(単位:百万円)

種類	R3年8月末	R4年8月末
農業資金	1,778	1,647
その他事業資金	521	450
住宅関連資金	5,406	5,544
生活関連資金	1,063	1,010
その他	223	195
合計	8,994	8,848



地方公共団体、信連貸付の残高を除いています。

## 自己改革の取り組み

JA佐渡は農業・地域を支える組織として、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの自己改革目標を掲げ取り組んでいます。農業振興策の推進にあたっては、「組合員との対話」を基本に取り組んでいます。今年度上期の状況について関連する主な取り組みを中心に報告します。

### ◆農業振興等に関する取り組み

水稻では、1等米比率90%以上、反収510kgの達成を目指して、おいしい佐渡米研究会で研究・検討を行いながら、土づくり資材の普及と気象状況を踏まえた栽培管理の徹底により高品質・良食味米生産と反収向上に取り組んでいます。目標の達成に向けて、営農担当者が生産者を個別に訪問し提案活動を行っています。

園芸では、園芸振興実践プランに基づき、柿・アスパラガス・みかんを中心とした生産拡大に取り組んでいます。柿の収量向上については、おけさ柿指導員と連携し全園地の調査を実施し摘蕾管理の確認を行いました。また、アスパラガスの収量向上とみかんの生産拡大に向けては、生産者へ個別訪問を実施し話し合いを行い、収量目標等を共有しました。

畜産では、CBS（大型和牛繁殖支援施設）を含め、佐渡産和牛生産の拡大を目標に生産された子牛が高千家畜市場へ243頭上場しました。平均販売価格は4月市場で720千円でしたが、飼料価格の高騰により買え控えが生じ7月市場では、598千円となりました。

佐渡農業の担い手確保の取り組みとして「JA佐渡就農研修制度（JA職員として働きながら3年後の就農を目指す制度）」をスタートしています。令和4年度から新たに3名が研修を開始しました。

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

◆経営改善の取り組み

経営の合理化・効率化を目的に5月30日に、相川・小木・赤泊を金融センターとする金融店舗の再編を実施しました。現在、経済事業の収支改善を中心に検討を行い、経営改善の取り組みを進めています。

◆組織基盤強化の取り組み

正組合員数が減少する一方、准組合員は増加しています。ホームページやメール配信による情報提供を行いながら引き続き組合員加入を進め、准組合員へのアンケートや懇談を通じ、ニーズの把握に努めながら事業利用拡大につなげます。

## これからも地域と共にあるJAを目指して

当JAでは、営農・金融事業のほかにも各種事業活動やグループ会社の活動を通じて、組合員をはじめ地域住民の暮らしの応援を行っております。

- ◇Aコープ店 : 食料品を中心とした「暮らしの拠点」として、各地区に7店舗、佐渡総合病院にそれぞれ売店を設置しております。地場産農産物の販売などで、地域の暮らしと農業生産活動の橋渡し役として店舗運営を行っております。
- ◇農産物直売所 : JA直営直売所「新鮮空間 やらんか舎」と「菜 せいきて屋まの」、Aコープ各店でのインショップ方式による産直コーナーを通じて、農家の皆様と一緒に地域の消費者へ安全、新鮮な品物をお届けしています。
- ◇セレモニーホール: 増加するホール葬需要に応えるために、グループ会社の運営により島内2か所にセレモニーホールを設置しております。また、自宅葬や出張葬など幅広いニーズへの対応を行っております。
- ◇セルフスタンド : 本土に比べ高い島内のガソリン等の価格の引き下げの牽引的役割として、セルフ方式のガソリンスタンドを島内3か所に設けております。



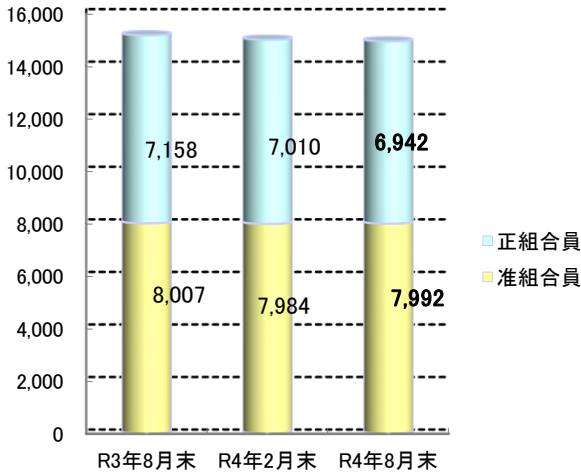
写真：農産物直売所「新鮮空間よらんか舎」

★このようにJA佐渡は組合員、地域の皆様の営農と暮らしに密着した様々な事業とともに、組合員加入運動に取り組んでおります。

**組合員数の推移**

(単位: 組合員数)

	R3年8月末	R4年2月末	R4年8月末
正組合員	7,158	7,010	6,942
准組合員	8,007	7,984	7,992
組合員計	15,165	14,994	14,934



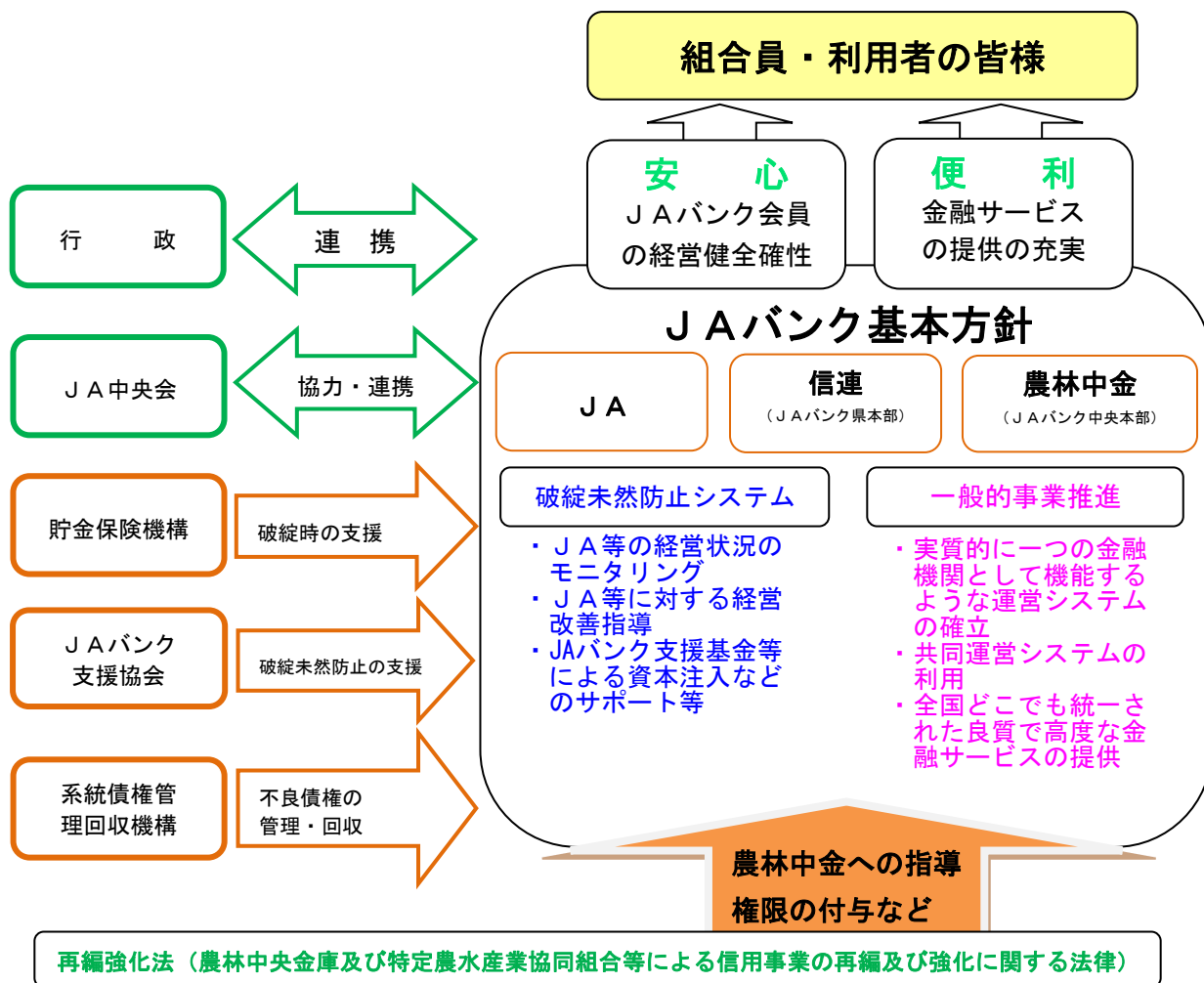
※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

皆様の大切な貯金を安心バンク、JAバンクが守っています。

## JAバンクシステム

JAバンクは、JAバンク会員（JA・信連・農林中金）で構成するグループの名称であり、組合員・利用者のみならず便利で安心な金融機関としてご利用いただけるよう、JAバンク会員が一体的に取り組む仕組みを「JAバンクシステム」といいます。

「JAバンクシステム」は、JAバンクの信頼性を確保する「破綻未然防止システム」と、スケールメリットときめ細かい顧客接点を活かした金融サービス提供の充実・強化を目指す「一体的事業推進」の2つを柱で成り立っています。



## JAバンク・セーフティーネット

### 破綻未然防止システム

- 全国のJAバンクが協力して個々のJAを支援する、独自の制度である「相互援助制度」を一層充実・強化しています。
- 「破綻未然防止システム」とは、JAの経営状況のチェック（モニタリング）、経営改善への取り組み、「JAバンク支援基金」によるサポートを行う仕組みです。

+

### 貯金保険制度

- 貯金者を保護するための国の公的な制度で、貯金保護の範囲は「預金保険制度」と同じです。
- 貯金業務を取り扱う全てのJA・県信連・農林中央金庫などが加入しています。



佐渡農業協同組合

編集 佐渡農業協同組合 総務部

〒952-8502

新潟県佐渡市原黒300番地1

TEL 0259-27-6161

FAX 0259-27-6170

Eメール [kikakuka@ja-sado-niigata.or.jp](mailto:kikakuka@ja-sado-niigata.or.jp)

ホームページ <http://www.ja-sado-niigata.or.jp/>

JA佐渡

検索

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。